

是ヲ語りて泪ニのミゾムせビける。略下

〔異本枕草紙下〕まづしげなる物。あめうしのやせたるひたゝれのわたうすきあをにびのかりぎぬくろかるのほねにきなるかみはりたるあふぎねすみはみたるゑぶくろかうぞめのきばみたるかみにあしきてをうすゝみにかきたる。

〔鹽尻 四十八〕夫才識名聲は世の重んずる處富裕貴顯は人の欲する所然るに自分をしらす専らこれに驕傲して人を看下せば世是を訾り人これを憎み終に必困苦敗棄せらるゝに至る事古今ひとし貧乏は世の厭ふ所卑賤は人の恥る所也何の驕る事や有といふ人ありつらつら看よ不幸にして貧究し世にあらずして卑賤に居者良もすれば世を憤り人を恨むが故に言に發して濁富は清貧にしかず不義の出身は浮雲の如し夷齊顔曾の賢豊富且貴やなど口にいひ平居亦大言して矯枉正に過ぐ凡そ貴に登り權盛なる人を見ては必ず白眼を以てし富祿豊に厚き者を聞ては必らず衰困究迫の日を待の心あるが如し故に人毎に睦じからず是自貧賤に驕りて人を謾するにあらずや豈是を憎みいとほざるべき人眼あらば何ぞ禍をとらずしてあるべき是貧賤に安んじ命に任せざる小人のすがたのみ。

〔萬葉集 五 雜歌〕貧窮問答歌一首并短歌

風離雨布流欲乃雨雜雪布流欲波爲部母奈久寒之安禮婆堅鹽乎取都豆之呂比糟湯酒宇知須須
呂比氏之可夫可比鼻毗之毗之爾志可登安良農比宜可技撫而安禮乎於伎氏人者安良自等富己
呂倍騰寒之安禮波麻被引可賀布利布可多衣安里能許等其等伎曾倍騰毛寒夜須良乎和禮欲利
母貧人乃父母波飢寒良牟妻子等波乞乞泣良牟此時者伊可爾之都都可汝代者和多流天地者比
呂之等伊倍杼安我多米波狹也奈理奴流日月波安可之等伊倍騰安我多米波照哉多麻波奴人皆
可吾耳也之可流和久良婆爾比等等波安流乎比等奈美爾安禮母作乎綿毛奈伎布可多衣乃美留